

社会性の発達を目指す

Jouons avec la France!
フランスと遊ぼう!

高校 — 大学連携教育

野菜から学ぶ食育

附属特別
支援学校

School of Special
Support Education

附属幼稚園

Kindergarten

附属
高等学校

Senior High School

附属名古屋
小学校

Nagoya Primary
School



附属岡崎
中学校

Okazaki Junior High
School

附属岡崎
小学校

Okazaki Primary
School

附属名古屋
中学校

Nagoya Junior High
School

将来に生きる追究活動

通常学級での特別支援教育

ものづくりの愛知から発信!

【セブンプロジェクト】

SEVEN PROJECT

国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION



国立大学法人 愛知教育大学

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1
1Hirosawa, Igaya-cho, Kariya-city,
Aichi 448-8542

附属学校部 Affiliated Schools Division
TEL:0566-26-2108 FAX:0566-26-2690
<http://www.aichi-edu.ac.jp/center/index.html>

愛知教育大学の7附属学校園のプロジェクト

愛知教育大学には、7つの附属学校園があります。

- ・ 附属名古屋小学校
- ・ 附属岡崎小学校
- ・ 附属名古屋中学校
- ・ 附属岡崎中学校
- ・ 附属高等学校
- ・ 附属特別支援学校
- ・ 附属幼稚園

各附属学校園では、毎年「教育研究発表会」を開催しています。

これに加えて、各附属学校園では、教員・教科・学年・委員会・全校などの単位でさまざまな特徴ある教育活動に取り組んでいます。ここでは、各附属学校園から一つの取り組みを呈示していただき、7プロジェクトとして紹介いたします。また、この7プロジェクトを大学として支援する7支援プロジェクトも同時に進めています。



心と体で味わう食育

附 愛知教育大学附属名古屋小学校

〒461-0047 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目126番地 TEL 052-722-4616
HP <http://www.np.aichi-edu.ac.jp/>

食べ物から学ぼう！心と体で味わって！

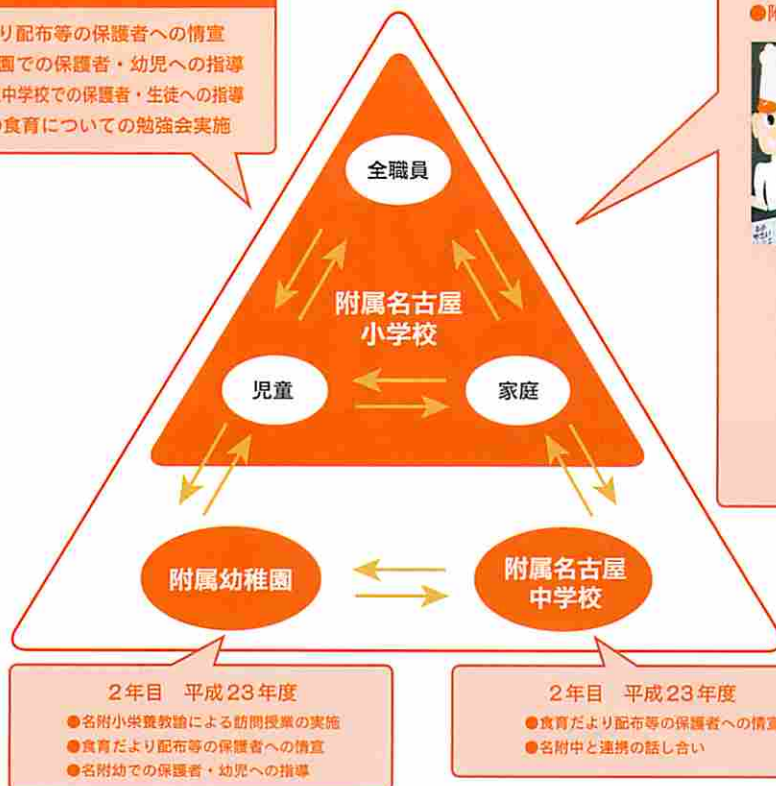
附属名古屋小学校では、食べ物への興味・関心を高め、食べることの楽しさや食べ物を大切にする心を育てることを目指し、栄養教諭による学級活動と給食時間での食育を中心に、学校全体での食に関する指導を進めています。

2年生では、生活科と関連させ、年間を通した「野菜」から学ぶ食育を実践しています。

6月は「めざせ！附小野菜ソムリエ」、7月は「トマトいっぱい元気パスタを作ろう」、11月は「ふっくら鬼まんじゅうを作ろう」、12月は「小松菜で雑煮を作ろう」、3月は「大根でみそおでんを作ろう」など、野菜を育て、収穫した野菜を調理し、五感で味わう活動を通して、野菜を大切にする心を育てました。

「附属名古屋小学校を中心とする食に関する指導を通じたダブルトライアングル」構想

- 3・4年目 平成24・25年度**
- 食育だより配布等の保護者への情宣
 - 附属幼稚園での保護者・幼児への指導
 - 附属名古屋中学校での保護者・生徒への指導
 - SSRでの食育についての勉強会実施



1・2年目 平成22・23年度

- 附属名古屋小学校での食育授業の充実
- セレクト給食・縦割り給食・学年会食会の実施
- 食育だより配布等の保護者への情宣
- 2年生での収穫祭と関連させた継続した食に関する指導の実施
- 附属名古屋中学校・附属幼稚園との連携の話し合い

野菜ソムリエ授業の光景

- 2年目 平成23年度**
- 名附小栄養教諭による訪問授業の実施
 - 食育だより配布等の保護者への情宣
 - 名附幼での保護者・幼児への指導

- 2年目 平成23年度**
- 食育だより配布等の保護者への情宣
 - 名附中と連携の話し合い

「自分の考えをしっかりとつことのできる子」の育成をめざした教科指導

附属名古屋小学校では、社会や新学習指導要領で求められている力や本校の子ども達の実態における課題を鑑み、思考・判断・表現の力を高めるため、「『自分の考え』をしっかりとつことのできる子」の育成をめざした教科指導をテーマに、研究を進めております。



通常学級での特別支援教育



愛知教育大学附属岡崎小学校

〒444-0072 愛知県岡崎市六供町八貫15番地 TEL 0564-21-2237
HP <http://www.op.aichi-edu.ac.jp/>

学び合うよさが実感できる教育活動

附属岡崎小学校では、日々の生活の中で、子ども一人一人の生活経験や生育歴・人間関係などに応じた支援を考え、教育活動をしていくことこそ、これからの通常学級での特別支援教育ではないかと考えています。

そのために、スクールカウンセラーやアイリスパートナーとの連携を確かなものにし、子ども一人一人を、家

庭環境まで含めて対応ができるように務めています。具体的には、保護者に対してスクールカウンセラーによる「親子関係の悩み相談」と、その見立て・対応。またアイリスパートナーによる「特別支援を必要とする子どもへの対応」や「学級の友だちへの対応」など、学び合うよさが実感できる教育活動を展開しています。



※写真はイメージです

特別支援教育 推進委員会

子どもたちの日頃の生活の様子や学習の様子を共有し、よりよい成長への支援を検討することを目的としています。
校長・副校長はじめ、学年主任・生徒指導担当者、状況により大学からのスクールカウンセラーなど専門的な立場からの意見もいただいています。

一人一人の
自立を目指した
教育活動

学び合うよさが
実感できる
教育活動

— 保護者へ — スクールカウンセラー

臨床心理士などの資格を持った者が、学校内で、子どもや保護者へのカウンセリング、教師との対応協議、地域やPTAへの啓発活動、外部機関との連携の橋渡しなどを行います。
本校では、臨床心理士の資格を有する愛知教育大学の専任教員が、スクールカウンセラーとして活動しています。

— 子どもへ — アイリスパートナー

愛知教育大学大学院(学校教育臨床専攻)の大学院学生による、児童の心理相談の実習活動を指します。
現在、7名が所属しています。

「共に学び 共に生きる」

附属岡崎小学校では、子どもが自ら問題を発見し、解決していく姿を大切にしながら、生きる力の育成を図っています。今次研究では「まわりの人と共に、よりよい社会を創り出そうとする人」を育てたいと願い、教師の「子どもと子どもの考えを結ぶ」「子どもが自分の考えを見直そうと立ち止まる場面をつくる」はたらきかけをもとにした授業構想について、各教科ごとに研究実践を進めています。



ものづくりの愛知から発信!



愛知教育大学附属名古屋中学校

〒461-0047 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目126番地 TEL 052-722-4613
HP <http://www.nj.aichi-edu.ac.jp/>

たのしい、ものづくり!

生徒は、間伐材を使ったパズルの製作、磁石づくり、形状記憶合金を使ったおもちゃづくりなどを通して、ものづくりのたのしさと大事さを味わいます。このことを、愛知県内の学校や産業技術に関わる施設と連携して、地域の子どもにも伝えていきます(ものづくり教育に関わる地域連携推進プロジェクト)。

また、ものづくりを行う際には、製作時に機械や道具を使いますので、作業の安全や衛生についても同時に学ぶことも大切です。この一連の安全衛生に関わる内容を、モデルとして構築し、地域に向けて発信して行くことも視野に入れています(教科における安全衛生教育モデル構築とその発信プロジェクト)。



かかわり合いの中で学ぶ授業の創造 —言語活動を通して—

附属名古屋中学校のめざす子ども像は、(1)自ら問題を見つめ、粘り強く追究する子ども、(2)自分の判断を大切に、責任ある行動をする子ども、(3)友と手をたずさえて問題の解決にあたり、自他ともに生かすことのできる子どもです。この実現のために、毎年教育研究発表会を開催しており、平成23年度の研究主題は「かかわり合いの中で学ぶ授業の創造—言語活動を通して—」です。研究部を中心として、教員全員が一丸となって取り組んでいます。



将来に生きる追究活動



愛知教育大学附属岡崎中学校

〒444-0864 愛知県岡崎市明大寺町栗林1番地 TEL 0564-51-3637
HP <http://www.oj.aichi-edu.ac.jp/>

やってみたいことをとことん追究する

9教科で繰り広げられる問題解決的学習過程を経た子どもは、教科の中の追究だけでは満足せず、「もっと追究をしたい」と思いをふくらませていきます。私たちは、そんな子どもの思いや願いを見取り、「未来につながる追究」

「開拓する追究」「予測していく追究」など発展的個人追究の場を保障しています。この自ら見通しをもち解決していく学びを積み重ねることで、子どもが夢を探し、将来とのつながりを意識させながら取り組んできました。

先輩に聞いてみたい



1年生はテーマ設定の仕方、追究の方法、取材のポイントを学び、自分の追究の見通しを3年生から学びます。先輩のダイナミックな追究にふれることで、追究活動そのものに魅力を感じ始めます。

取材訪問をしてみたい



追究したいテーマと出会った子どもは、基礎追究にはじまり、電話取材などを通し、追究を深めていきます。さらに、専門家への取材訪問など、追究は校外へと広がっていきます。

学びを深めていくと、
夢がどんどんふくらみ、
さらに、新しい夢が生まれます。

友達と夢を語り合いたい



自分の追究を基に経験を積み、学びを深め合う価値を実感した子どもは、仲間を巻き込んで、新たななかかわりや学びの深め合いを求めています。問題を見つけ、解決する力を高め、将来の自分の生き方へとつなげていきます。

夢の実現のために



追究してみてわかったことを基にして、自分の考えを友達に伝えたい。伝えることで考えがまとまり、新しい見方ができるようになります。また、友達意見を参考に、さらに追究したい内容と出会います。

学びを深め合う姿

追究を進めれば進めるほど、仲間が集まります。思いや考えを語り合い、刺激し合う自主的な学びの深め合いへと広がっていきます。高まる思いがあるからこそ伝えたいのです。語り合いたい仲間がいるから熱い討論が展開されるのです。ふとした休憩の時間にも繰り広げられる自然な学びの深め合いは、新たな自分を創る姿であり、次代を創る子どもの力を伸ばします。この経験は将来に生かされるのです。



高校 — 大学連携教育



愛知教育大学附属高等学校

〒448-8545 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1番地 TEL 0566-36-1881
HP <http://www.auehs.aichi-edu.ac.jp/>

高校 — 大学連携教育システムの共同研究

愛知教育大学と附属高校との「高大連携教育」は、単に大学と附属高校との間だけで自己完結するものだけではなく、愛知県内の多数の県立高校も参加している広範囲の「高大連携」であり、教員養成系大学の新しい人材発掘のあり方への研究のサポートを目指しています。

大学のアドミッションポリシーに合致した人材の発掘を行うため、高校では基礎学力の充実、大学では高校生

へ大学教員の講義を行っています。そして、附属高校と連携し教職への高いモチベーションを有する人材を早期に見だし、組織的かつ継続的にその志と能力を育み、社会が求める教員あるいは社会人へと育成していく方法を探るところが特徴です。高大連携教育システムを段階的に示したのが下図です。



愛知教育大学

入学前授業

- オリエンテーション(12月下旬)
- 共通課題(～2月上旬)…高校教員がサポート
- 個別課題(～3月中旬)…専攻・選修、コース毎に大学教員がサポート

入学後は優れた教員としての人材の継続的育成、および情熱と知識を併せ持つ社会的リーダーの育成を目指します。

高校教育シンポジウム「学びの可能性を拓く」

附属高校では「学びの可能性を拓く」の研究テーマを掲げ、毎年の高校教育シンポジウムで研究成果を発表してきました。平成22年度のシンポジウムでは「高大連携」「英語科 ライティング指導」「地歴・公民科『貿易ゲーム』の歴史授業での活用の可能性を探る」の3つの分科会の発表をしました。平成23年度は「高大連携」「理科」「保健体育科」の発表を計画しています。



社会性の発達を目指す

愛知教育大学附属特別支援学校

〒444-0072 愛知県岡崎市六供町八貫15番地 TEL 0564-21-7300
HP <http://www.fuyou.aichi-edu.ac.jp/>

子どもが夢中になる あそびの工夫

教員はさまざまなゲームやあそびを考案し、日々のさまざまな教育活動のなかで実施しています。それは何よりも子どもたちに社会的自立のための「生きる力」を身に付けさせたいとの願いからです。

知的障害の子どもたちのあそび行動は、基本的には健

常の子どもたちのそれと違いはありません。しかし実際の行動様式・パートナー、規則・道具等について、障害の種類や程度に応じて特別な変更や配慮を行う必要があります。その点に本校教員の持ち味である特別支援教育への熱い思いが表現されています。

しあわせの門



正門には「この門の向こうにしあわせの道がある」と書かれています。子どもたちに幸せを、これが本校の理念です。

力を発揮できる環境づくり



秋の収穫祭「やさいも」

学習会「3びきのこぶた」

遊び心は、子どもの教育と発達にとって、とても大きな意義を有しています。本校の教員の遊び心は教師魂です。

モザイクアート



台紙のますに記された数字を頼りに、必要なパネルを数えて置いていくと、次第に絵柄が現れます。一つの作品をみんなで作り上げる中で、さまざまな数え方を身につけて欲しいと願って考えられたあそびです。

色合わせゲーム



チーム数分の色で面が塗り分けられた具体物を、自分のチームの色が上向きになるように向きを変えていきます。制限時間になったところで上向きになっている色の数で勝敗を決めるゲームです。

「人とのかかわり」をひろげる子 —「人とのかかわり」をおさえる—

附属特別支援学校では平成22年度より5か年計画で「人とのかかわり」をひろげる子」を主題にして研究を進めています。研究初年度には「人とのかかわり」をさぐる」であった副題は、2年目には「人とのかかわり」をおさえる」に変更される予定です。

平成23年11月11日(金)に第44回障害児教育研究協議会を予定しています。



Jouons avec la France!

愛知教育大学附属幼稚園

〒461-0047 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目126番地 TEL 052-722-4610
HP <http://www.k.aichi-edu.ac.jp/>

フランスと遊ぼう！

朝は、園庭前でフランス語を使ったあいさつをしています。園児たちもフランス語であいさつを返してくれます。名古屋と東京を拠点に活躍しているヴァイオリンとギターのアーティスト2人によるフランスの音楽などの演奏も鑑賞しました。実際に演奏をしたリズムの勉強と曲当てクイズでは、子どもたちの反応の良さに演奏家も驚いた様子でした。

保護者を対象とした、愛知教育大学のフランス人教員

によるフランスの教育制度と幼稚園の現状に関する講演も行いました。講演後、園児たちと触れ合ってもらい、日頃接することのないフランス人との交流に園児たちは大きな刺激を受けました。

愛知教育大学の教員によるフランスの音感教育の実験的な試みでは、フランスの伝統的な音の出る遊具を使ってのクイズをしました。描かせた絵に様々な反応が表れて興味深いものがありました。



アーティストによるフランスの音楽の鑑賞



フランス人との交流



フランスの音感教育の実践風景



フランスの幼稚園での活動風景(視察時撮影)

「環境に視点をあてた」幼児教育を次年度も継続

環境に視点をあてて、生活とつながる「人的」「自然」「物的」「時間」「空間」の各シーンから、幼児の体験学習を進めています。昨年は「お餅つきをしよう」から、友だちとのつながりを深めました。また「生き物に親しみが持てる環境づくり」では、ハムスターの飼育を通して触れ合いの体験を持ちました。次年度も「環境」を核とした幼児教育の研究を進めていきます。